

教科名		Study Skills (Standardクラス)	
対象学年		高校1年	コース・選択等 ——
単位数		1単位	教科書 (出版社) ——
参考書・ 使用教材		『プレ小論文トレーニング』第一学習社 など	
学習の ねらい		①授業に主体的に参画する態度を身に付けることができる。 ②協働の学びに貢献する態度を身に付けることができる。 ③すべての教科の土台となる学習方法を確立できる。 ④自身の考え（主張）を言語化し、他者に論理的に伝えることができる。 ⑤自身の大切にしている価値観を発見し、将来のキャリアをデザインすることができる。	
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い
	4月	オリエンテーション	・ Study Skills Standardプログラムの概要を把握する。 ・ 一人一人が、安心安全の学びの場づくりの担い手であることを意識づける。
	5月	学習方法の確立 学習集団形成	・ マインドマップや思考ツールを活用して、多くの情報を整理し、知識と知識を繋ぎ理解する方法を身に付ける。 ・ データの読み込みや分析をして、自身の考えの根拠にすることができる。 ・ 統計情報を適切に処理することができる。 ・ 自身の考え（主張）を言語化し他者に伝えることが出来るようにすると同時に、他者の意見を傾聴する姿勢を身に付ける。
	6月		
	7月	言語活動： 基礎ライティング	・ 自分の考えを整理して他者にわかりやすく伝えるためのテクニックを身に付ける。 ・ 小論文と作文の違いや文章で表現する上での基礎・基本について理解する。 ・ 身近なテーマを題材として、自分の考えを整理しながら、論理的でわかりやすく表現する力を身に付ける。 ・ 業者テストを活用し、問いに対して論理的に答える力を身に付ける。
	9月		
	10月		
	11月	キャリア基礎開発	・ 「社会の変化」をグループ・個人で具体的に考え未来社会を予想し、その社会の中で自分がどうありたいか、何を何のために学びたいか、未来と自分を繋げ、文章に表現する。 ・ ある商品を通して、自身の興味関心と関連づけ、将来どのように社会貢献したいのか考え、その実現に向けた進路決定に活かす。また、活動を通して社会理解・職業理解を促し、「キャリア」の理解・設計を行う。
	12月		
	1月		
	2月	まとめ	
学習の 留意点・ 評価など		・ 単位の認定について 授業の活動に主体的に参加して探究していること。ワークシートを提出していること。	

教科名		Study Skills：Advanced		
対象学年	高校1年	コース・選択等	――	
単位数	1単位	教科書 (出版社)	――	
参考書・ 使用教材	『プレ小論文トレーニング』第一学習社			
学習の ねらい	①授業に主体的に参画する態度を身につけることができる。 ②協働の学びに貢献する態度を身につけることができる。 ③質問力をつける。これによって正解のない問いに対応することや課題そのものを設定することができるようにする。 ④リフレクション力をつける。これによって大学で何を学びたいかを自分の頭で考えて進路選択することができるようにする。			
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	
	4月	オリエンテーション1	Study Skills Advancedプログラムの概要を把握する。 ブロックを使って自己紹介をする活動を通して、一人一人が、安心安全の学びの場づくりの担い手であることを意識づける。	
		学びの場づくり	LEGO® SERIOUS PLAY®を活用して、安心して発現できる学習の場づくりをする。手を動かしながら考えることや作ったモデルに意味づけをすることを体験する。	
	5月	大学・社会が求める力	大学・社会が求める力や認知能力と非認知能力の違いを知ること で、知識と知識をつないで考える学習態度へ導く。	
	6月 7月	質問力	「質問づくり」(Question Focus Technique)ワークショップを通して、 質問力のトレーニングを行う。トレーニングは日本語だけではなく、英語でも行う。 思考力の土台となる質問力を鍛える。	
	9月	アドミッションポリシー	国内外の大学のアドミッションポリシーを分析することを通して、 求められる力は何かへの理解を深める。分析力を鍛える。	
	10月	志望理由書	良い志望理由書の条件を考える。 何のために何が学びたいかを、具体的に文章で表現できるようにする。 小論文テストを受ける。	
	11月	データ分析	問いに答えるために、複数のデータを比較しながら読み取る。問い に対する答えを文章で表現する。	
	12月	リフレクションスキル	意見、経験、感情、価値観の認知の4点セットをつかったリフレク ションスキルの練習をする。	
	1月 2月	生産する組織と創造する組織	△から○へ変わる組織のかたち（佐宗邦威「ひとりの妄想で未来は 変わる」より抜粋）を読み、ブロックでモデルをつくる。作ったモ デルを言葉で説明することで二つの組織の違いを理解する。	
学習の 留意点・ 評価など	・単位の認定について 授業の活動に主体的に参加していること。ワークシートを提出していること。			